

小学校ではまだ2年生ですが、日能研では今月から3年生の学習がスタートします。

まずは動画を見て学習する習慣を身につけましょう。

3年生前期の目標

- ・漢字…2年配当漢字の復習（2月・3月）／3年配当漢字の学習（4月～）
- ・文章…読む楽しさと解く楽しさを知る（物語文・説明文）
- ・語句…ことばに親しむ（4月から開始）

2月・3月の漢字の学習は、「2年生までに習う漢字の復習」です。小学校で学んだ漢字をひとつだけで読んだり書いたりするだけでなく、組み合わせて熟語で使うなどさまざまな角度から復習していきます。4月以降は3年配当漢字の学習をスタートさせます。漢字はゆっくりていねいに書きましょう。また、他の読み方や反対語などを覚えていくことでことばの量を増やせます。

文章題では物語文と説明文を読み、書かれている内容を大きくつかめるようになりましょう。読書と読解は違います。文章の好き嫌いに左右されない力を身につけるため、動画をよく見てどこに気をつけるのかを学びましょう。

語句の学習は4月からです。主語・述語・修飾語などさまざまなことを取り上げます。ことばの知識は国語の力の源です。しっかり覚えましょう。

毎回のテキストの構成

- ・漢字
- ・文章題

答えはすべてテキストに書き込みましょう。ワクの中におさまるように大きな字でていねいに書いてください。

文章題には各回に★がついている問題があります。これは特に重要な問題だという印です。必ず取り組みましょう。

間違えた問題は赤できちんと直すことが大切です。そのとき、最初にした答えを消さないよう、解答欄の横に新たな答えを書くなど、自分がどのような間違いをしたのか、どのように直してマルとなったのかがはっきりとわかるようにしましょう。

動画視聴時のお願い

保護者の方もお子様と一緒にご覧になることをおすすめいたします。記述問題のマルつけなど、お子様自身で判断できない場合もあると思います。また、お子様が学習習慣を身につけられるよう、「解く

→直す」の流れの定着にご協力ください。

各回の基本的な構成は、「導入」→「文章のまとめ」→「重要問題の解説」→「応用問題の解説」です。動画は随時一時停止して視聴していただければと思います。

テキストにはノート欄がありますが、講師が板書したことを写す必要はありません。しっかり見ること、話を聞くことを大切にしてください。

◆第1回 漢字学習室①／ナナのおたんじょう日（物語文）

漢字は2年生までに習う漢字の復習です。全部で10問ありますが、3～4分程度の時間で書ききれようになりましょう。ワク内におさまる大きさと、ゆっくりていねいに書きましょう。⑤「光」の上の形には注意しましょう。

文章は物語文です。お子様が音読されるとよいでしょう。特に「登場人物」について考える回です。出てくる人の名前や関係性、性格などを読み取りましょう。

◆第2回 漢字学習室②／はらペコのポポ（物語文）

前回と同様に、漢字は2年生までに習う漢字の復習です。⑥「戸外」は読みに注意して下さい。これをきっかけに、いろいろな読み方を意識できるとよいでしょう。

文章は物語文です。黙読よりも音読することで単語の区切れなどを意識できます。ぜひお子様が音読してください。今回は「場所」に注目していきます。映像として文章内容をイメージできるようになると、場面もつかみやすくなります。

◆第3回 漢字学習室③／タマは強い？（物語文）

今回も漢字は2年生までに習う漢字の復習です。字の上手、下手ではなく、ていねいに書くことが大切です。⑤「半ば」の読みやたてぼうをしっかりとつき出すこと、⑦「細かく」は送りがながちがうと「ほそい」と読むことに注意です。

今回は物語文のまとめです。登場人物や場所をおさえることに加えて、できごとと、それに対する発言や行動から人物の気持ちを読み取れるようになることが目標です。音読の際も、誰のセリフなのかに注意して読んでみましょう。

◆第4回 漢字学習室④／伝説上の生き物の話（説明文）

漢字は2年生までに習う漢字の復習です。そろそろ決めた時間内で大きくていねいに書けるようになったでしょうか。②「午後」の「午」や⑨「刀」は、線がはみ出ることで違う漢字になってしまいます。間違えて覚えないように、早く書き終わるより、ていねいに書く意識を持って取り組みましょう。

文章は今回から説明文を学習します。「話題」をおさえ、形式段落ごとに内容をとらえましょう。

回数	文章読解の ポイント	「本科教室」 ここだけは押さえておこう	「栄冠への道」 必ず解いてみよう	「本科教室」 この問題にチャレンジ
1	【物語文】 名前・人物関係・ 性格を読み取る。	漢字…すべて 文章…★問一 ★問四	問一 問三 問五	問二・問三・問五・ 問八
2	【物語文】 人物がいる場所 をイメージする。	漢字…すべて 文章…★問一 ★問二	問一 問三 問六	問七・問八
3	【物語文】 できごとと、人 物の発言や行動 をもとに気持ち を考える。	漢字…すべて 文章…★問二 ★問三	問五 問六	問一・問五
4	【説明文】 話題を読み取る。	漢字…すべて 文章…★問一 ★問五	問一 問五 問六	問三・問七

……→ は関連する問題であることを表しています。

いよいよ2月から新3年生の学習を進めていきます。第1回、第2回は、計算方法の確認と工夫、文章題の基本を学習していきます。また、第3回は魔方陣、第4回は広さの基本を学習します。
各回の学習の目安は以下の通りです。

◆第1回 数とともにだちになろう！ 基本計算の確認・数の大小

かけ算の九九はできるだけ毎日練習して、正しくできるようにしておきましょう。たし算・ひき算では位をそろえて計算することがポイントです。また、計算の順序についても、きまりをしっかりと確認しておきましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

やってみよう ～ できるかな？ ,

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

, チャレンジ！

③「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・できるかな？ ～

栄冠への道・・・チャレンジ！ ,

◆第2回 計算をくふうしてみよう 計算の工夫・文章題の基本

計算するときは、ただ計算するだけではなく、なにかうまくくふうできないかを考えながらすすめていくことが重要です。また、たし算、ひき算の筆算の方法や、かけ算九九についても、もう一度しっかりと確認しておきましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

やってみよう ～ できるかな？ ,

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

, チャレンジ！

③「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・できるかな？ ～

栄冠への道・・・チャレンジ！ ,

◆第3回 ふしぎな数の図形 魔方陣

魔方陣とは、正方形のマス目の中に数を入れて、たて、よこ、ななめのどの列の数の合計も同じになるようにした図形のことです。筋道を考えて、わかるところから順に数を計算していくことで、算数に必要な力をきたえることができます。1回でうまくいかなくても、何通りか試してみたりすることによって考えることができますし、すべての計算が合っていないと正しい結果が得られないこともよい訓練になります。何よりも、楽しみながら自分の手をしっかり動かして進めていくことが大切です。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

やってみよう ～ できるかな？

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

～

③「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・できるかな？ ～

栄冠への道・・・チャレンジ！ ～

◆第4回 ぜんぶでいくつ？ 広さの概念

形が全くちがう図形でも、同じ形に区切ることができれば、区切った形の数によって、広さをくらべることができることをよく確かめておきましょう。また、数を数えるときは、やみくもに数えるのではなく、かけ算を利用したり、図形をうまく分けたりして計算していくことが大切です。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

やってみよう ～ できるかな？

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

～

③「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・できるかな？ ～

栄冠への道・・・チャレンジ！ ,